

「緑化樹センター」が設置される

— 緑化樹に関する情報，研究，普及の総合拠点をめざして —

鈴木 勝 夫

近年，みどり環境の保全や自然とのふれあいを求める道民の関心が高まる中で，街路，公園，庭などに身近なみどりによる景観づくりが進められています。

そこで，多様化する緑化樹のニーズに対応するため，情報の収集と提供，研究開発，技術指導を実施する総合拠点として本年4月1日，北海道立林業試験場に「緑化樹センター」が設置されました（写真－1）。

なお，緑化樹センターの主な業務内容は次のとおりです。

○ 緑化樹の研究開発

北海道に適した新品種や北国型緑化材料の開発，並びに組織培養による増殖など低コストな生産技術の開発（写真－2）。

○ 緑化樹の見本展示

緑化樹の新品種や新緑化材料の環境への適応性など，緑化樹に関する研究成果などを展示する見本園の設置。

○ 緑化技術の指導普及

緑化樹の生産や維持管理に関する技術を広く普及するため，技術講習会の開催と技術マニュアル，ビデオなどの作成。

○ 維持管理技術の開発・普及

道路，公園などに植栽された緑化樹の維持管理技術の開発，並びに景観などに配慮した緑化樹の選定と普及。

○ 緑化情報の収集・提供

緑化樹の生産・流通に関する情報や新品種などの情報の収集と提供。

○ 緑化樹の普及啓発

緑化意識の高揚を図るため，緑化樹の試験研究成果や緑化樹情報の普及誌「きたのみどり」と，緑化樹に関する話題を解説したトピックス「グリーンメール」をそれぞれ年2回発行。

また，緑化セミナー，緑化教室などを開催。



写真－1 5月11日「緑化樹センター」開所式



写真－2 ナナカマドの組織培養

(利用指導課)